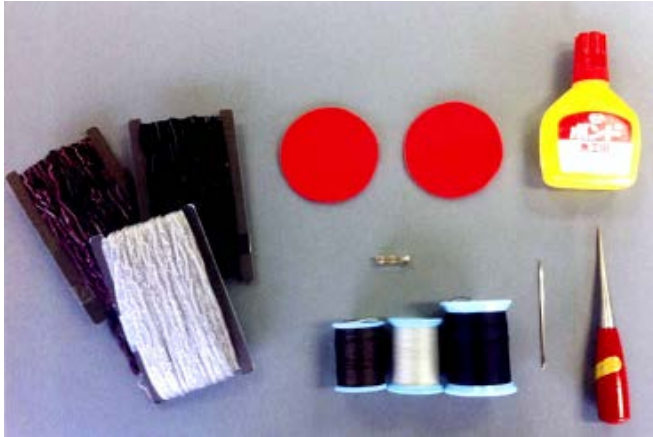


# 縫いつける

## チェックのブローチ



### 材 料:

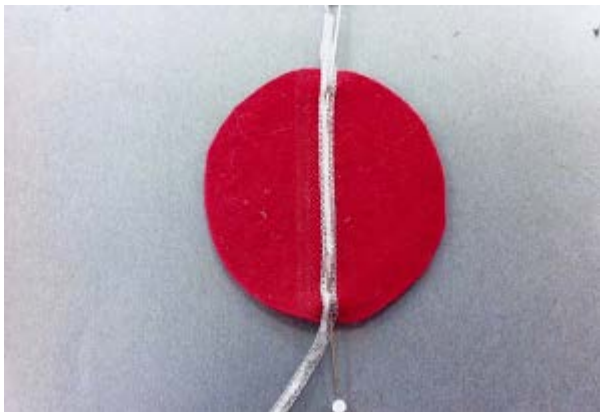
フェルト  
反射材糸  
ブローチピン  
糸 (しつけ糸、ミシン糸)

### 道 具:

ボンド  
クッキングシート  
ミシン

### 手 順

1. 丸型にカットしたフェルトを2枚用意する。  
1枚のフェルトに柄の中心となる反射材糸の位置を決め、待ち針で両端をとめる。



2. 反射材糸を平行に並べ、チェックの大きさを決める。  
◆多色使いの場合は色が片寄らないようにするのがコツ!



3. 垂直方向の反射材糸を先に並べた反射材糸の上下くぐらせながら編むように置いていく。



- ◆ 平織りをイメージすると◎。

4. チェックの形を整え待ち針で固定したあと、しつけ糸で反射材糸を縫いとめる。



5. しつけ糸の上からミシンをかける。



6. しつけ糸を取る。



フェルトからはみ出た反射材糸は裏面に折込む。



反射材糸の端をしつけ糸でとめる。



7. 裏面をクッキングシートで覆い、高温度のアイロンで押えたあと、しつけ糸をぬく（糸端をしまつする）。



8. 丸型フェルトにブローチピンを縫いつける。



9. 丸型のフェルト2枚をボンドで貼り合わせる。





## 10. 完成!



### ここがポイント!!

- 反射材糸をアイロンで押える際には、必ずクッキングシートを用いること。反射材糸はアイロンに直接接触すると、溶けてしまいます。
- クッキングシートはアイロンをかけると反射材糸にペタッとつきます、少し冷ましてから、ゆっくりとはがすのがコツ。
- 手縫いする際は、反射材糸の中にある反射材に針を通さないように注意してください。網目から反射材糸が飛び出してしまう可能性があります。

### ～ アレンジ ～

同じ要領で、衣服に反射材糸を縫いつけると「リフレクローズ」をつくれます。



リフレクローズは、ここに紹介されているほかに、春・夏物、秋・冬物の作品があります。滋賀短期大学のホームページから閲覧できます。是非、ご覧になってください。